

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2006-61152(P2006-61152A)

【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2005-168055(P2005-168055)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 で示される塩基配列からなるプライマー、及び配列番号 2 で示される塩基配列からなるプライマーからなる、酵母及びカビ検出用プライマー。

【請求項 2】

検出対象となる酵母及びカビが、サッカロマイセス・ショレピッシュェ、ピキア・アノマラ、カンディダ・ファマタ、デバリオマイセス・ハンセニイ、ジグロサッカロマイセス・ロウキシ、カンディダ・インターメディア、クラビスボラ・ルジタニエ、クルイペロマイセス・ラクティス、シゾサッカロマイセス・ボンブ、ピキア・メンブラニファシエンズ、ペニシリウム・オブラタム、ペニシリウム・サブロサム、アスペルギルス・ニガー、フサリウム・クルークウェレンス、ジェオトリカム・カンディダム、アルターナリア・アルタネータ、アウレオバシディウム・ブルランス、クラドストリウム・クラドスポリオイドス、ユウロチウム・ハーパリオラム、及びタラロマイセス・バシリスポラスよりなる群から選択される少なくとも 1 種である、請求項 1 に記載の酵母及びカビ検出用プライマー対。

【請求項 3】

検査対象物中の酵母及びカビを検出する方法であって、

(1) 検査対象物に含まれる DNA を抽出する工程、

(2) 前記工程(1)抽出された DNA を鋳型として、請求項 1 又は 2 に記載のプライマー対を用いて PCR を行なう工程、及び

(3) 増幅された DNA 断片を検出する工程、を含有する検出方法。

【請求項 4】

検査対象物が食品である、請求項 3 に記載の検出方法。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載のプライマー対を含有する、酵母及びカビ検出用キット。